

四季の歌

心映の投句
俳句・短歌教室の詠歌紹介

この朝は顔洗ふ水の冷めたくて忍び寄る「秋」指にしみたり
つかれ気味をいやさむとして深呼吸木犀の花こんなに香るから
咲きそろうお菓子のごときつりがね草挿してひと声話しかけたら
赤トンボの飛び交ふ様子ケイタイの画面に見えてつくづく秋
夕日け博多湾めぐりの「マリエラ船」傘寿の思い出ワインの美味し
秋、明菊のつばみ膨らむ風のなか友より届きし栗を剥ききる
山肌に悪魔の爪痕幾筋や災害列島ニュースはつきす
秋彼岸墓地に鳴き渡る法師蟬とぎれとぎれに生き残りを告ぐ

村上 美幸
三村 和子
桑野 昭子
白石 信子
福田キヨ子
越智 早苗
高村 三也
福田 昌

赤池隣保館句会

池田一步選

稲を刈る話に心弾みけり
阿蘇谷へ色のなだれて草紅葉
軒下を占めて簾の吊し柿
緋と燃えてどこか淋しき曼珠沙華
中津城秋高く天守閣
夜半ふと目覚めて虫の音に眠る
葉を散らし一雨ごとに秋深む
歩きつぶり褒められいよく秋高し
シャンデリア眩しくありし吾亦紅
杖とれて歩く一歩や鴈高音

大久保幸子
小場 妙子
丸山 鈴子
熊谷カツミ
吉田 弘
千手 弘子
水上 翠人
米原ふさ枝
芳野もと子
石井 恵子

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

機嫌良く新米を炊く電気釜
翻訳の難語繕く夜業の灯
天狗てふ辛口地酒吾亦紅
爽やかや思ひ出集め同窓会
長き夜や使ひこなせぬ電子辞書
漁村にて秋見つけたり波光る
断ち切れぬ故郷思ひ里祭
父祖の地は空家ばかりや法師蟬
仕舞湯は独りの世界ちちる虫
秋の蚊と思へど痛な羽音かな

長副美恵子
建部三由紀
松岡 萬枝
西田 真美
今井三千代
桂 啓子
岩井ひさ幸
小川 雪
小野 美幸
加藤きみ子

方城句会

池田一步選

屋敷地に際やかなりし柿紅葉
山峡の色の深さや秋の雲
虫の音に誘はれ闇の庭先へ
音絶えし真昼の古刹木の実落つ
好評の茗荷酢漬や秋過路
田園の緑の中を赤電車
初紅葉洞門に沿ふ川の音
尾根渡る雁の一群月の光
娘に伝ふ言葉なまま菊に逝く

白石 凡子
杉 フジエ
長尾 冨子
藤井耿之介
渡邊 一枝
有川 信子
尾崎 和子
木村 誠一
倉石嘉代子

福智の風

▶ 透き通った秋空に心が弾む
この時期は、広報係にとって
“怒濤の秋”。催事が多く、町
内を休む間もなく駆け回る日々
ですが、町の魅力を広くPR
できる絶好のチャンスなので、
これはいわば「うれしい悲鳴」。
本当の悲鳴がでるのはもう少し
後。行く先々で出会った秋の
味覚に手が伸びて、ほっこり
おなかが成長してしまった
姿を鏡で見た時です。(相原)

▶ 取材で福智山への登山を
初体験してきました。運動不
足の体にむち打った甲斐あつ
て、山頂にたどり着いたときは
眼前に広がる美しい景色
に心奪われました。また、可
愛い山ガールや山ボーイ(市
場小のみなさん)と一緒に登
山で心が弾みました。これが
仕事ではなくプライベートなら
なあ…と思う今日この頃です。
(翌日筋肉痛に苦しんだ荒牧)



稲刈後の腕試し「競犁会」
提供者●不明(金田町誌掲載)
撮影日●昭和30年頃

牛馬が農作業の中心だった当
時、稲刈が終わると催された
「競犁会」。犁と手綱以外一切
使わずに田を耕し、その仕上
がりを競う大会で、娯楽の少な
かった時代の一大催事でした。

昔の写真を探しています!
図 総務課広報・広聴係
☎22-0555

ほんのすぐそばに、あなたの目の前に

人権があります。

12月4日(木)から10日(水)までの7日間は「第66回人権週間」

毎年、12月4日～10日は人権週間です。町でもこの7日間が、毎日考える「人権習慣」のきっかけとなるように人権講演会を開催します。人が生まれながらに持つ権利「人権」。ぜひこの機会に、あなたの身近にある人権問題に対して、正しい理解と知識を深めてください。

世界共通の達成すべき基準として、昭和23年12月10日の第3回国際連合総会で、基本的人権を守る「世界人権宣言」が採択されました。その後、この採択の日を「人権デー」と定め、加盟国に人権擁護活動の推進を求めたのが「人権週間」の起りです。わが国では、昭和24年から法務省と全国人権擁護委員連合会が「人権デー」を最終日とする1週間(12月4日から10日まで)を「人権週間」と定めています。

今年66回目を数える「人権週間」では「みんなで築こう人権の世紀」を考えよう相手の気持ちで育てよう思いやりの心」をテーマに全国的規模で活動を展開。一人ひとりが命の尊さや大切さ、自分や周囲の人がかけがえない存在であることを真に実感し「相手の気持ち」と「思いやりの心」を大切にすることを目指して、女性、子ども、高齢者、障害者、同

和問題など17項目の人権啓発に関する強調事項を掲げています。

この「人権週間」が、毎日考える「人権習慣」のきっかけとなるように、人権週間に合わせて、毎年、福岡県や福智町も人権意識の普及と高揚を呼びかける啓発行事を行っています。いまだ残るあらゆる差別の解消のため、この機会に人権について深く考えてみませんか。みなさんの積極的なご参加をお待ちしています。

福岡県人権週間講演会

日時 12月6日(土) 11時45分～

場所 クローバープラザ(春日市)

テーマ 「守りたい、こころのいのち」

第1部 講演 葉祥明さん(絵本作家)

「こころに響くいのちの言葉」

第2部 全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会発表会

第3部 映画「そして父になる」

福岡県人権啓発情報センター

☎092-5584-1771

講師 中嶋 玲子さん



結婚を機に務めていた保育所を退職、4世帯同居の農家の嫁となり、農業と育児に追われる日々を過ごす。平成7年、杷木町町議会議員選挙に出馬し、2期連続トップ当選を果たす。

平成14年には杷木町長選挙に出馬し、九州初の女性町長として杷木町長に就任。平成17年からは「福岡県男女共同参画センターあずばる」の館長を務め、現在は県内を中心に年120回以上の講演や研修会などをこなす多忙な毎日を送る。

【福智町人権週間講演会】

日時 11月12日(水) 18:30 開場 19:00 開演

場所 地域交流センター (福智町伊方4480-1)

テーマ 一人ひとりの人権が尊重される男女共同参画社会の実現

問 人権・同和対策課 ☎22-7764 / ほのぼの館 ☎22-6290

